

グラフでみる加工食品の 生産・販売、外食等の指標



目 次

< グラフでみる生産販売統計 >

1. 加工食品の生産動向
2. 食品卸売業・食品小売業
3. 外食産業
4. 食料品の物価

< 今月のトピック >

- ・食品製造業の構造変化



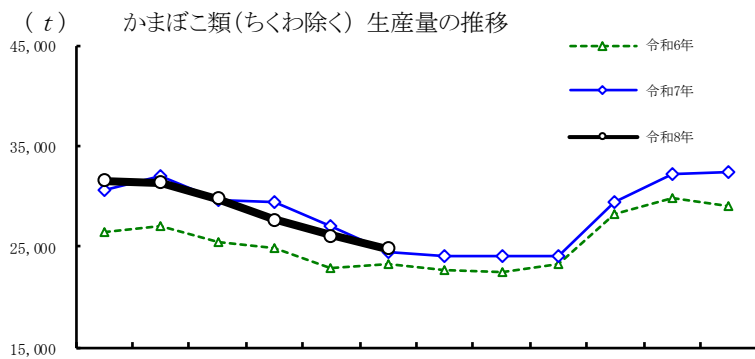
1. 加工食品の生産動向

食品需給研究センターでは、食品製造業の月次生産動向について、調査・分析業務（農林水産省「食品産業動態調査」）として実施しています。<https://www.fmric.or.jp/stat/index.html>
ここでは、加工食品の主な品目別の生産動向（増減率、速報値）についてとりあげます。
なお、詳細は、「食品製造業の生産動向」をご覧ください。

○ かまぼこ類

生産量 対前年同月比

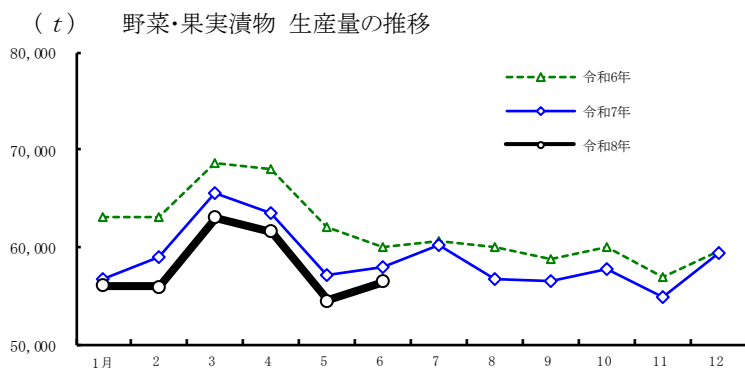
6月 1.2% 増加



○ 野菜・果実漬物

生産量 対前年同月比

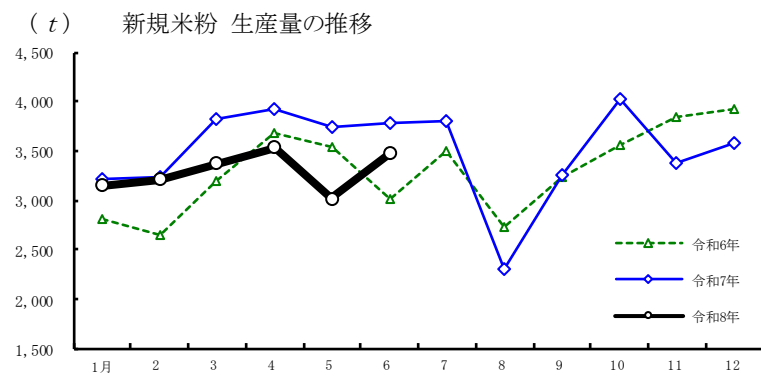
6月 2.4% 減少



○ 新規米粉

生産量 対前年同月比

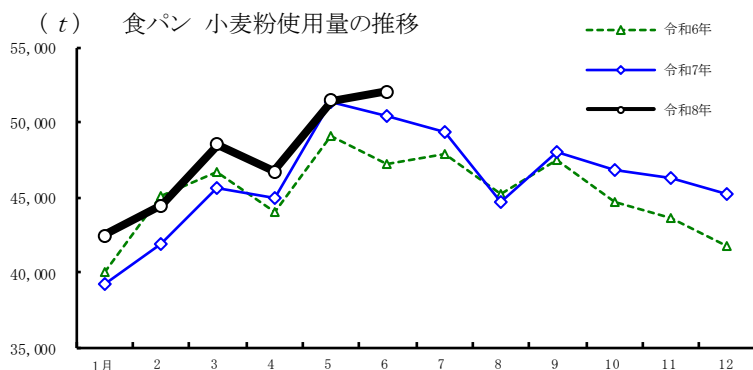
6月 8.1% 減少



○ 食パン

小麦粉使用量 対前年同月比

6月 3.2% 増加

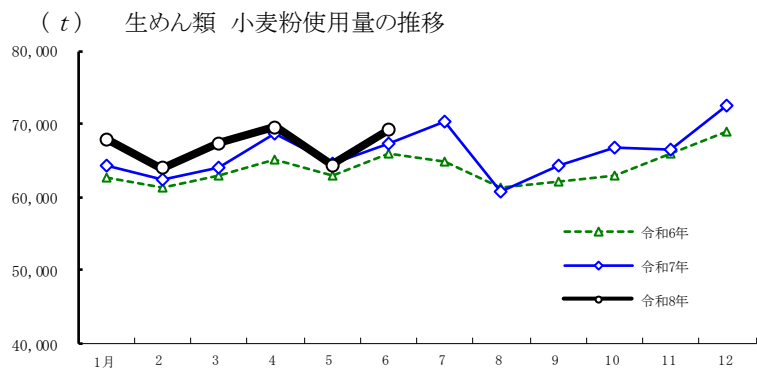


1. 加工食品の生産動向

○ 生めん類

小麦粉使用量 対前年同月比

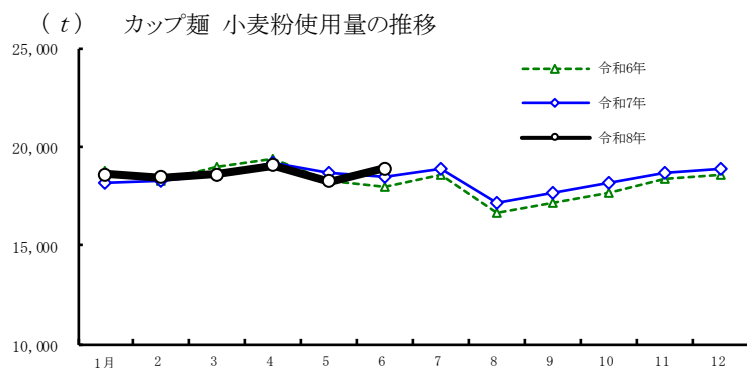
6月 2.7% 増加



○ 即席カップめん

小麦粉使用量 対前年同月比

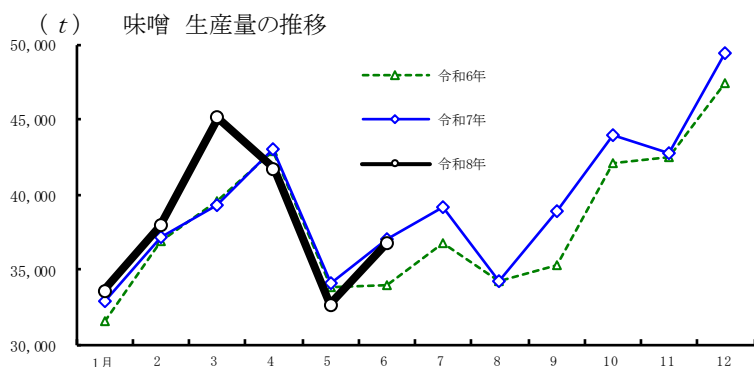
6月 2.3% 増加



○ 味噌

生産量 対前年同月比

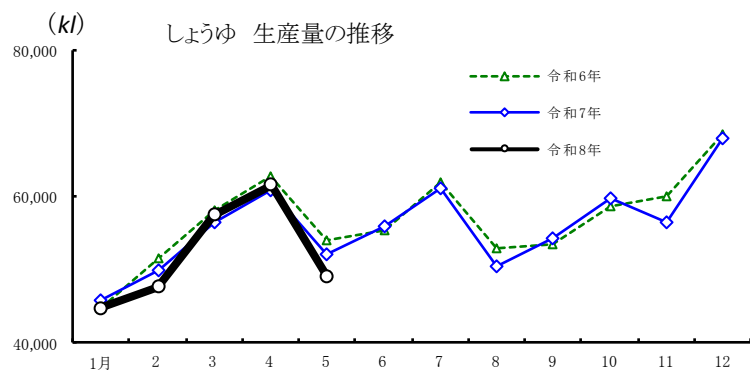
6月 0.9% 前年並み



○ しょうゆ

生産量 対前年同月比

5月 5.7% 減少

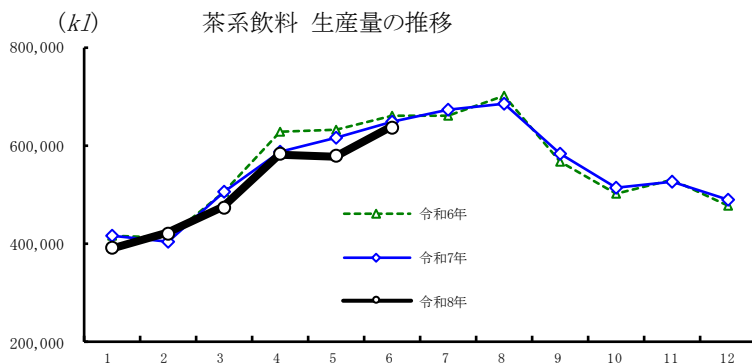


1. 加工食品の生産動向

○ 茶系飲料

生産量 対前年同月比

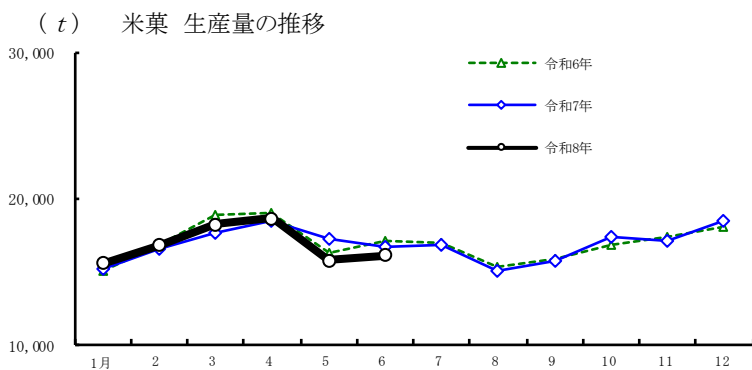
6月 1.9% 減少



○ 米菓

生産量 対前年同月比

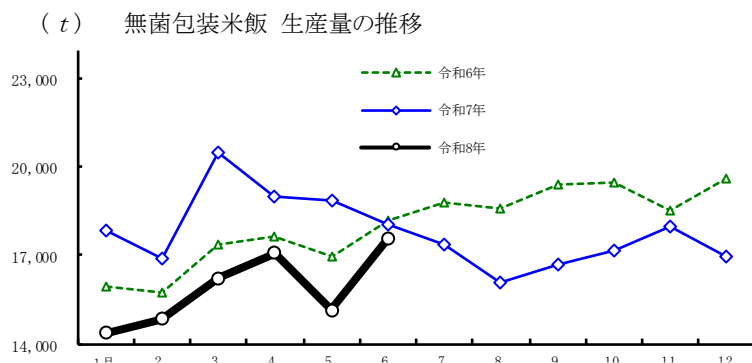
6月 3.2% 減少



○ 無菌包装米飯

生産量 対前年同月比

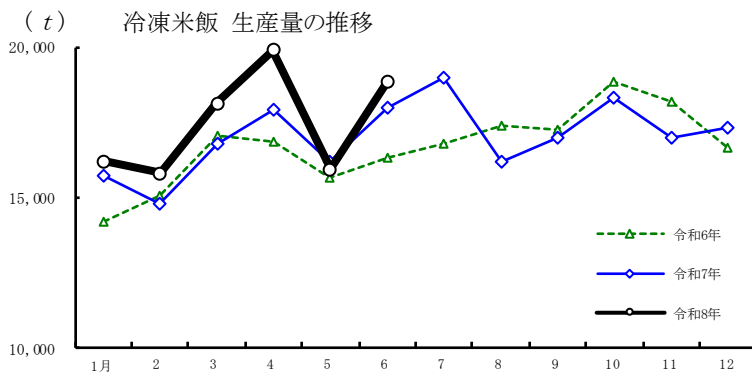
6月 2.7% 減少



○ 冷凍米飯

生産量 対前年同月比

6月 4.6% 増加



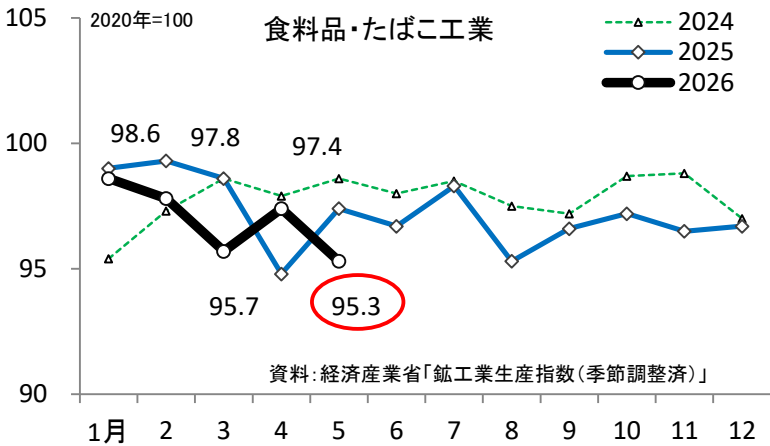
<参考> 食料品・たばこ工業の生産動向
(経済産業省「鉱工業生産指数」より)

○ 食料品・たばこ工業

生産指数 対前年同月比

5月 2.2% 減少

※経済産業省「鉱工業生産指数」は、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動の統計。食品製造業の月次の生産動向について、みることができます。



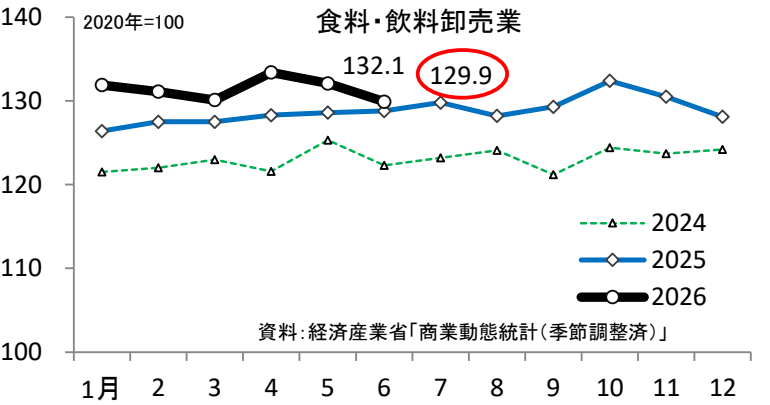
2. 食品卸売業・食品小売業

○ 食料・飲料卸売業

売上高 対前年同月比

6月 0.9% 前年並み

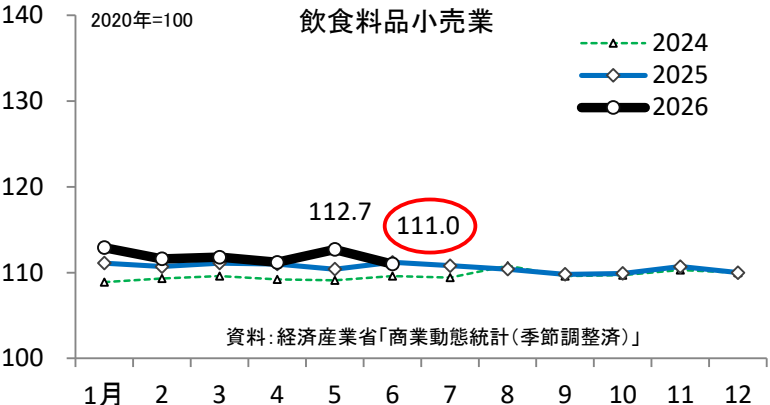
経済産業省「商業動態統計」は、全国の商業を営む事業所及び企業の販売活動の統計。具体的には、卸売業、小売業及び小売業の業態別（スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の飲食料品都等の売上高（月次速報）について、みることができます。



○ 飲食料品小売業

売上高 対前年同月比

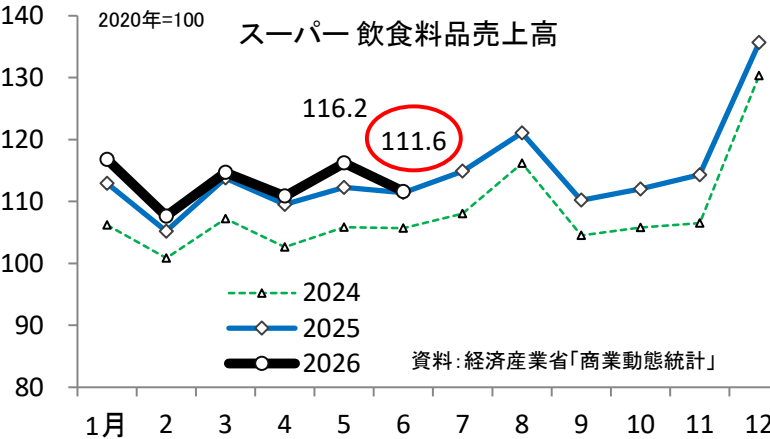
6月 0.2% 前年並み



○ スーパー

飲食料品売上高 対前年同月比

6月 0.2% 前年並み

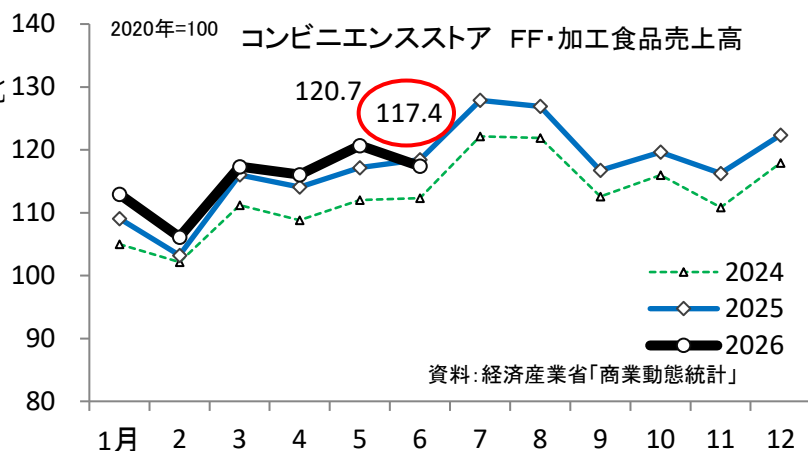


2. 食品卸売業・食品小売業

○ コンビニエンスストア

FF・加工食品売上高 対前年同月比

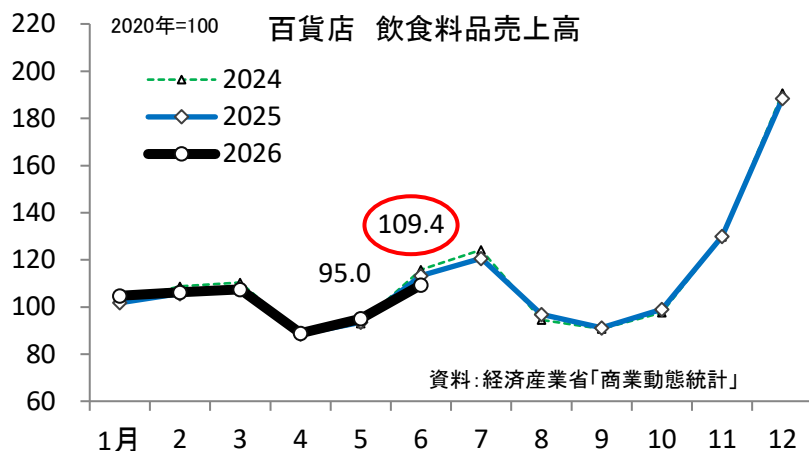
6月 0.9% 前年並み



○ 百貨店

飲食料品売上高 対前年同月比

6月 3.5% 減少



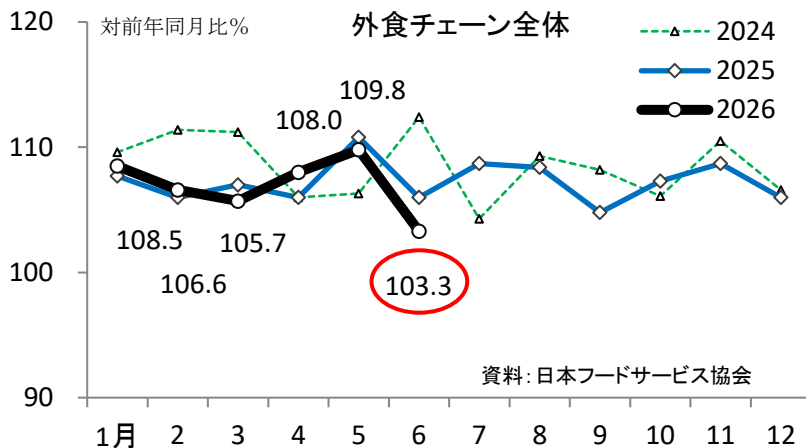
3. 外食産業

一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査」は、外食チェーン企業203社約3万9千店の売上高等についての業態別の統計。直近の売上動向がわかります。

○ 外食全体

全店売上高 対前年同月比

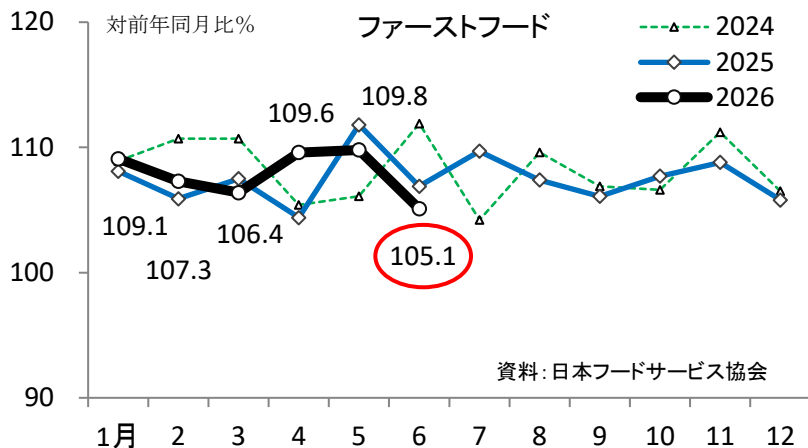
6月 3.3% 増加



3. 外食産業

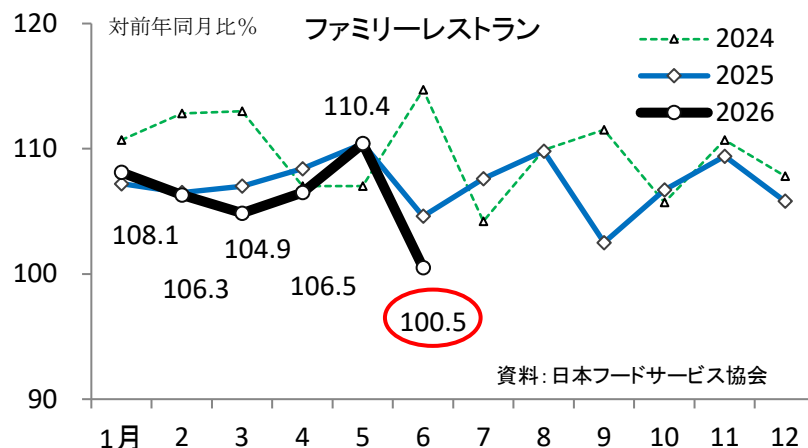
○ ファーストフード

全店売上高 対前年同月比
6月 5.1% 増加



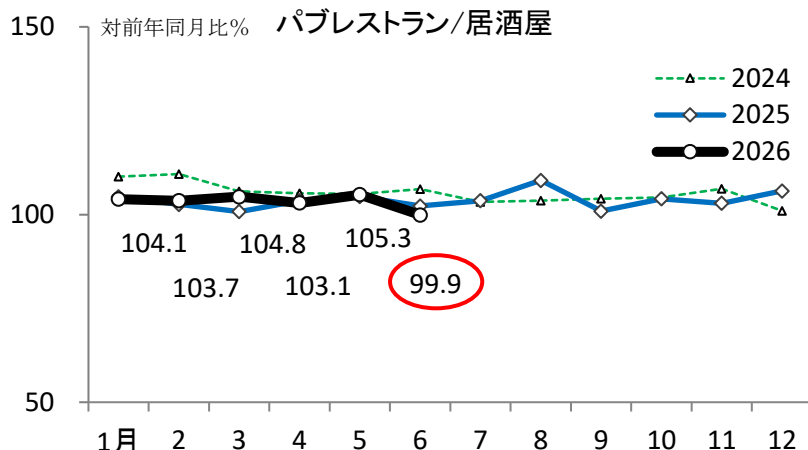
○ ファミリーレストラン

全店売上高 対前年同月比
6月 0.5% 前年並み



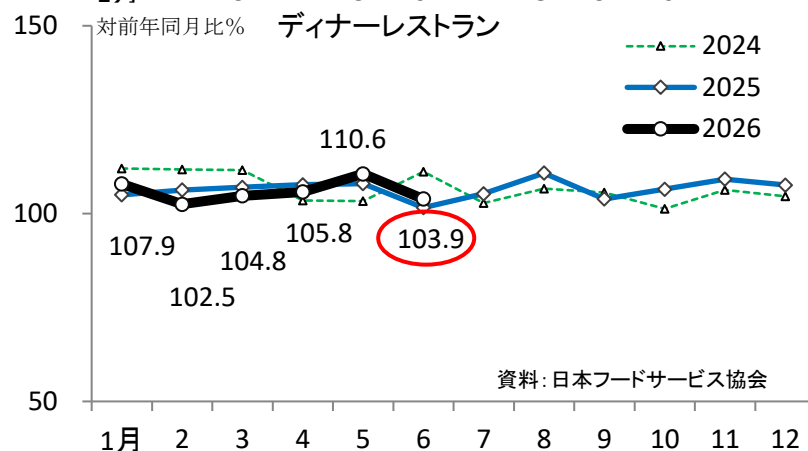
○ パブレストラン/居酒屋

全店売上高 対前年同月比
6月 0.1% 前年並み



○ ディナーレストラン

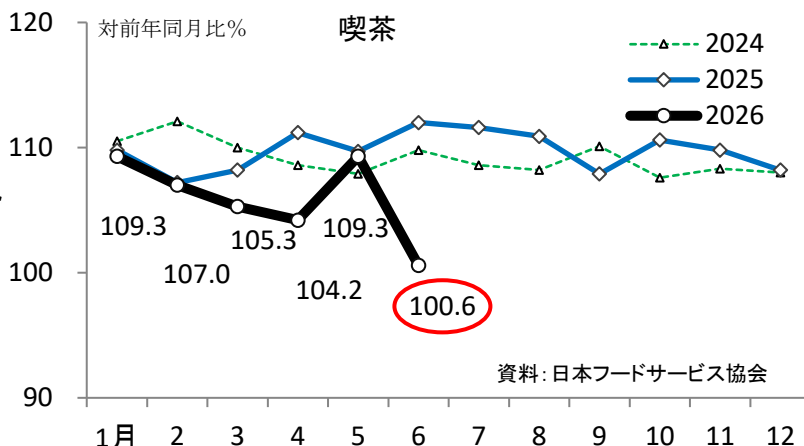
全店売上高 対前年同月比
6月 3.9% 増加



3. 外食産業

○ 喫茶

全店売上高 対前年同月比
6月 0.6% 前年並み



4. 食料品の物価

○ 企業物価指数

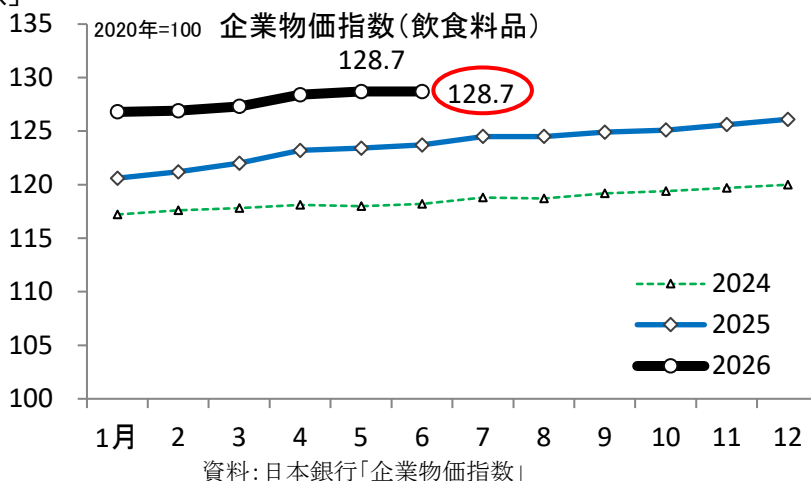
企業物価指数は、企業間で取引される品質を固定した商品（財）の価格を継続的に調査し、現在時点の価格を、基準時点（2020年）の価格を100として、指数化したもの。

このうち、食品製造業（飲食料品）の出荷販売価格について、みることができます。

資料：日本銀行「企業物価指数」

○ 企業物価指数 （飲食料品）

飲食料品 対前年同月比
6月 4.0% 上昇



○ 消費者物価指数

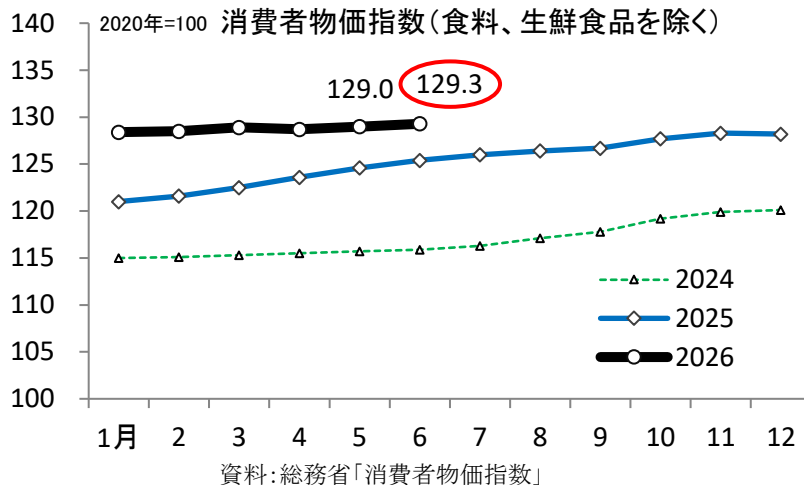
消費者物価指数は、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格変動を総合的に測定し、物価の変動を時系列的に測定するもの。

このうち、食料（生鮮食品を除く）について、みることができます。

資料：総務省「消費者物価指数」

○ 消費者物価指数 （食料（生鮮食品除く））

食料 対前年同月比
6月 3.1% 上昇

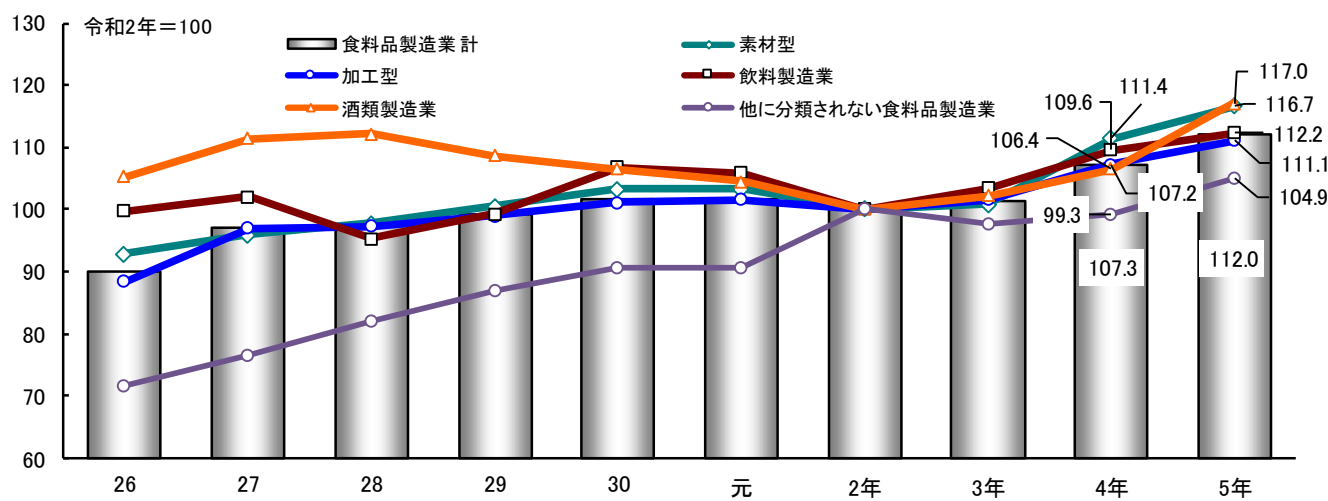


令和5年の製造品出荷額等は、39兆9千億円で対前年比4.4%とやや増加

令和5年の食料品製造業における製造品出荷額等（酒類・飲料含む）は、経済産業省「経済構造調査（産業別統計表）」によれば、39兆9千億円で対前年比4.4%とやや増加した。コロナ禍からの回復及び令和3年以降の飲食料品の企業物価の上昇が要因とみられる。

4区分業種類型別にみると、素材型は5兆7千億円で対前年比4.8%とやや増加、加工型は24兆5千億円で同3.7%とやや増加、飲料は3兆2千億円で同2.4%とわずかに増加、酒類は3兆7千億円で同9.9%とかなりの程度の増加となった。

図1 食品製造業の製造品出荷額等の推移



資料：経済産業省「工業統計」、「経済センサス-活動調査」、「経済構造調査」より作成

表1 食品製造業の製造品出荷額等

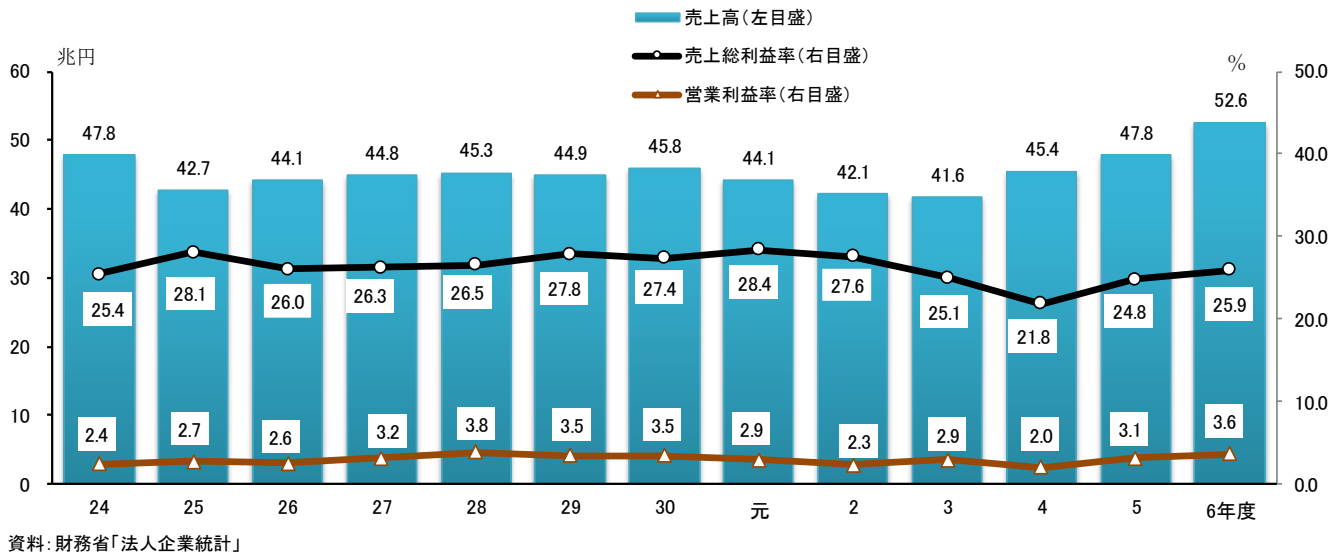
区分・年次								単位：10億円、%			
		金額	構成比	金額	金額	構成比	構成比	対前年増減率			
		元年		2年	3年		5年	2年	3年	4年	5年
業 種											
食料品製造業		36,160	100.0	35,598	36,097	100.0	100.0	▲ 1.6	1.4	5.8	4.4
素材型		5,052	14.0	4,891	4,929	13.7	14.3	▲ 3.2	0.8	10.5	4.8
調味料製造業		2,059	5.7	1,901	1,819	5.0	5.1	▲ 7.7	▲ 4.3	4.5	7.6
糖類製造業		531	1.5	526	437	1.2	1.4	▲ 1.0	▲ 16.8	23.6	4.2
精穀・製粉製造業		1,459	4.0	1,513	1,466	4.1	4.1	3.7	▲ 3.1	0.2	12.0
動植物油脂製造業		1,002	2.8	952	1,206	3.3	3.6	▲ 5.0	26.7	27.5	▲ 5.4
加工型		22,372	61.9	22,028	22,381	62.0	61.4	▲ 1.5	1.6	5.5	3.7
畜産食料品製造業		6,850	18.9	7,032	7,148	19.8	19.4	2.7	1.6	3.5	4.5
水産食料品製造業		3,355	9.3	3,241	3,489	9.7	9.5	▲ 3.4	7.7	10.3	▲ 1.7
野菜・果実等製造業		822	2.3	879	840	2.3	2.0	7.0	▲ 4.5	▲ 4.6	1.9
パン・菓子製造業		5,476	15.1	5,338	5,095	14.1	14.4	▲ 2.5	▲ 4.5	5.1	7.1
その他の食料品製造業 (加工型に限る)		5,868	16.2	5,538	5,809	16.1	16.1	▲ 5.6	4.9	6.9	3.3
飲料		3,032	8.4	2,864	2,963	8.2	8.1	▲ 5.6	3.5	5.9	2.4
清涼飲料製造業		2,462	6.8	2,318	2,389	6.6	6.5	▲ 5.9	3.1	5.0	2.7
茶・コーヒー製造業		570	1.6	546	574	1.6	1.6	▲ 4.2	5.2	9.4	1.4
酒類		3,270	9.0	3,129	3,199	8.9	9.2	▲ 4.3	2.2	4.1	9.9
酒類製造業		3,270	9.0	3,129	3,199	8.9	9.2	▲ 4.3	2.2	4.1	9.9
他に分類されない食料品製造業		2,434	6.7	2,687	2,625	7.3	7.1	10.4	▲ 2.3	1.6	5.7

資料：経済産業省「工業統計」、「経済センサス-活動調査」、「経済構造調査」より作成

令和6年度食品製造業の売上高は対前年比10.0%増加し、売上総利益率及び営業利益率は改善

令和6年度の食品製造業の売上高は、財務省「法人企業統計」によれば、52兆6千億円に対前年度比10.0%とかなりの程度の増加となった。売上総利益率は25.9%に対前年度比1.1ポイント上昇、営業利益率は3.6%で同0.5ポイント上昇し改善した。これは売上原価の増加分より売上高の増加分が上回ったことが要因とみられる。

図2 食品製造業の売上高、売上総利益率、営業利益率の推移



令和6年度食品製造業のマークアップ率は1.35倍と対前年度比でわずかに改善

マークアップ率は、分母を製造コスト（限界費用）、分子を販売価格とする、製造コストの何倍の価格で販売できているかを見る指標である。令和6年度の食品製造業のマークアップ率は1.35倍に対前年度比0.02ポイント上昇し、売上高の増加が、売上原価の増加分を上回ったことが要因とみられる。

図3 食品製造業のマークアップ率

